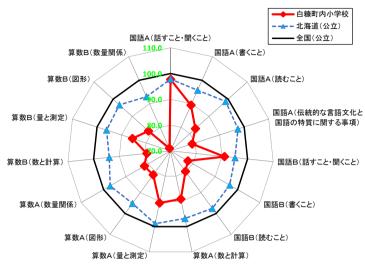
■白糠町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3、児童数:53名)

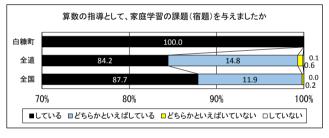
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

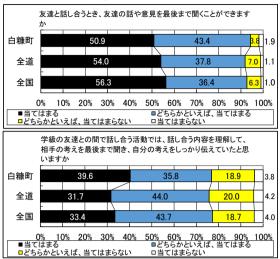
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

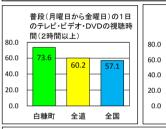


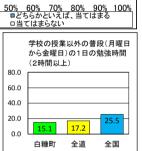
【学校質問紙調査】

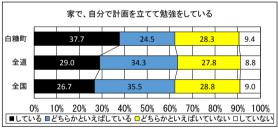


【児童質問紙調査】









【分析】

	0	国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で、全道とほぼ同様になっている。	0
教 科	0	算数A・Bでは、他の領域に比べ「量と測定」が全 国平均に最も近くなっている。	
	0	「普段、1日当たり2時間以上テレビやDVD等を視聴する」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	0
児童質問紙	0	「家で自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童の割合は全国及び全道を上回っているが、 2時間以上勉強している児童の割合が、全国及び 全道を下回っている。	0
学校質問紙	0	すべての学校が、「算数の指導として家庭学習の 課題を与えている」と回答している。	

-)授業において、話し合う活動を充実したことにより、友達の話を最後まで聞く態度が身に付き、国語の「話すこと・聞くこと」で全道とほぼ同様になったと考えられる。
- 家庭学習の課題を与えたことにより、児童が 家庭で学習する習慣が定着しつつあると考え ている。
- 家庭における児童のテレビやDVD等の視聴時間が長いことから、生活リズムチェックシートを活用するなどして、家庭学習の取組を含めた生活習慣の確立を図る取組を継続する必要がある。

【白糠町の学力向上策】

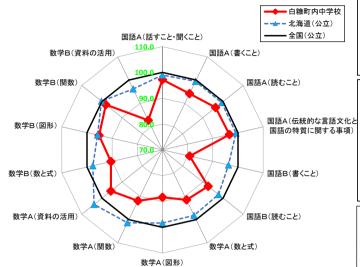
- ◎ 各学校に学力・体力及び生活習慣の確立に向けた数値目標と具体的方策を明確にさせ、達成状況を把握及び指導助言
- ◎ 家庭と連携した学校の学習内容を家庭学習で定着させるシステムの確立
- ② 各学校で作成している「家庭学習の手引き」を見直し、児童の主体性を促す実効性のある内容への改善
- ◎ 単元末や学期末において全国学力・学習状況調査やほっかいどうチャレンジテストの問題を効果的に活用

■白糠町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3、生徒数:63名)

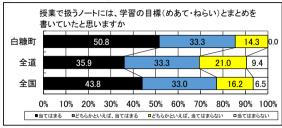
【教科全体の状況】

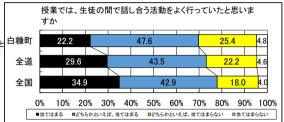
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

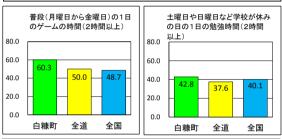
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

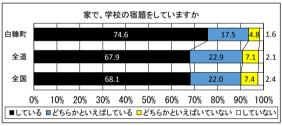


【生徒質問紙調査】

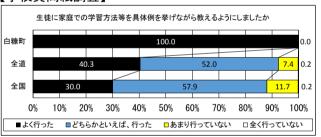








【学校質問紙調査】



【分析】

EVS DIA				
教 科	0	国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で、全道とほぼ同 様になっている。		
	0	数学Bでは、「図形」と「関数」で、全道とほぼ同様 になっている。		
生徒質問紙	0	「家で、学校の宿題をしている」と回答した生徒の 割合が、全国を上回っている。		
	0	「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。		
	0	「授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていた」と回答した生徒の割合が、全国を下回っている。		
	0	「学校が休みの日の1日の勉強時間が2時間以上である」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。		
	0	「普段、1日当たり2時間以上ゲームを行っている」 と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っ ている。		
学校質問紙	0	すべての学校が、「生徒に家庭での学習方法等を 具体例を挙げながら教えている」と回答している。		

-)生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げ ながら教えたことにより、家で2時間以上学習 する生徒が増えたと考えられる。
- 各教科の平均正答率は、全国を下回っている が、全体としては改善傾向にあり、今後も、目 標を明確にし、生徒が既習事項を活用するよ うな授業を行うとともに、小学校と連携した系 統的な指導に取り組む必要がある。
- 家庭学習については徐々に定着が図られているものの、宿題が中心であることから、生徒自ら課題を見付け、主体的に学習を進める家庭学習の在り方について、一層の指導を行う必要がある。

【白糠町の学力向上策】

- ◎ 各学校に学力・体力及び生活習慣の確立に向けた数値目標と具体的方策を明確にさせ、達成状況を把握及び指導助言
- ◎ 家庭学習の内容を検討し、自ら進んで課題を見付け、主体的に学習する態度を育成
- ◎ 家庭と連携した生活習慣の確立と家庭学習の習慣化
- ◎ 単元末や学期末において全国学力・学習状況調査やほっかいどうチャレンジテストの問題を効果的に活用